

国立能登青少年交流の家について

1 『国立能登青少年交流の家』とは

国立能登青少年交流の家は、石川県の能登の入り口に位置し、海と山に囲まれた豊かな自然の中にある教育施設です。



2 国立能登青少年交流の家の魅力

- ★ 様々な体験活動を行うことができる
- ★ 施設・設備が充実している
- ★ 低価格で利用できる
- ★ 栄養満点の食事（バイキング方式）が食べられる
- ★ 豊かな自然に囲まれ、世界農業遺産の能登の里山・里海の中にある
- ★ 『早寝早起き朝ごはん』（規則正しい生活を送ることができる）

3 理念

青少年を取り巻く社会の急激な変動の中、今日の青少年は自然の中で豊かな体験をしたり、文化芸術を体験して感性を豊かにしたりする機会が限られており、地域・家庭と連携・協働しつつ体験活動の機会を確保していく必要性について指摘がなされています。

国立能登青少年交流の家は、地域の魅力や特色を生かしながら、集団宿泊体験や自然体験、交流体験をはじめとする青少年の様々な体験活動や研修の場を提供しています。これらの活動を通じて、達成感や成功体験等を得るとともに、失敗や挫折を経験した時に、自分を受け入れ、課題に立ち向かう姿勢を身に付けることができます。

4 様々な体験活動

自然体験活動

スポーツ・レクリエーション活動

文化活動

創作活動

集団宿泊体験

学習・研修・奉仕活動

5 所章



能登半島と日本海を形どった所章です。能登半島の8分割は国立第8番目の青年の家（現在：交流の家）であることを意味し、あわせて「向上」と「躍動感」を表しています。

また、オレンジ色は「積極性」と「抱負」を表しています。

6 マスコット



名前は、「ヒノビィ」「ヒメビィ」「パパビィ」「ママビィ」といい、4人家族です。

羽咋市指定の天然記念物である、ホクリクサンショウウオ、学名「ヒノビウスタケダイ」を由来としています。